

広島県立総合技術研究所
水産海洋技術センター
事業報告

2012（平成24）年度

広島県立総合技術研究所
水産海洋技術センター

2013（平成25）年5月

はじめに

昨年度（平成 24 年度）は、県立 8 試験研究機関が広島県立総合技術研究所として統合されて 6 年目に当たり、それまでの 5 年間を総括して策定された「広島県研究開発戦略」（平成 24 年 3 月）による新たな 5 カ年がスタートしました。県の産業施策や企業等ニーズを踏まえ、戦略性を持って人材や資金を集中投入するプロジェクト型研究を核とした研究開発と技術支援を推進することとされています。

当センターでは、この戦略に沿いながら「2020 広島県農林水産業チャレンジプラン」の達成に向けて、かき及び地付き魚を中心に生産から販売まで視野に入れた技術開発・支援、また赤潮・貝毒・疾病対策・資源動向等の県民の安心安全及び水産事業者等の生産基盤確保により、本県水産業の発展に努めることを試験研究の方針としています。

昨年度は、開発研究「むき身かきの鮮度保持の開発～広島かきのシェア回復・拡大に向けて～」の最終年に当たり、生産現場の方々のご協力をいただき実証試験を行うことができました。また、研究成果移転促進事業「漁獲魚の多様性に対応するための蓄養技術普及促進体制の構築」では低塩分海水を利用した蓄養技術を活用し、漁獲魚を効率的に活かして活魚として販売する実証試験を生産現場の方々のご協力で行うことができました。この他にも、新たな課題化に向けて生産から流通・販売まで含めた関係者の方々に現場でのニーズ調査にご協力いただくなど、多くの方々のご協力・ご指導の下に業務を遂行することができました。

研究は重点研究分野を中心に推進していくこととなりますが、現場からのニーズに応えるため、その他の分野では調査研究や競争資金の活用などにより、取り組むこととしています。また、受託研究やギカジ（技術的課題解決支援事業）など技術支援制度の積極的な利活用に向けて PR を続けるとともに、当センターが保有する技術を広く知っていただくための広報活動にも力を入れ、業界の方々との接点を多角的に持ち、貢献度を高めていきたいと考えています。

県内産業へのより一層の貢献に向けて職員一丸となって取り組んで参ります。ご協力、ご支援いただいた関係者の皆様に深く感謝するとともに、今後ともご支援たまわりますようお願い申し上げます。

平成 25 年（2013） 5 月

広島県立総合技術研究所 水産海洋技術センター長

目 次

1	組織及び職員・職員の異動	1
1)	職員の配置	1
2)	職員の異動（平成 24 年 4 月 1 日）	1
2	試験研究等課題一覧	2
1)	研究課題	2
2)	事業課題	2
3)	事前研究課題	2
4)	調査研究課題	2
5)	競争的資金研究課題・受託研究課題	3
3	試験研究結果の概要	4
	開発研究	4
	むき身かきの鮮度保持技術の開発～広島かきのシェア回復・拡大に向けて～	4
	地域ブランド化に結びつくウマヅラハギの蓄養・養殖技術の開発	6
	事前研究	7
	かき養殖資材を利用したアサリ垂下養殖技術の開発	7
	研究成果移転促進事業	8
	地付き魚の蓄養輸送技術開発研究	8
	探索研究	10
	破片の出にくい殻を持つ殻付きかきの検討	10
	高温耐性を持ったマガキの育種	10
	かき種苗の抑制法の最適化検討技術の開発	10
	養殖かきにおけるカキヘルペスウイルスの浸潤調査	11
	アユの系統差と漁獲特性に関する研究	11
	メバルの種間差を活用した蓄養技術開発に関する基礎研究	11
	事業課題	13
	漁獲管理及び漁船等対策事業（広域連携資源増大対策事業）	13
	漁場環境総合監視事業・赤潮貝毒漁場監視事業	15
	水産業技術指導事業	17
	競争資金・受託研究	19
	漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業	19
	魚類にワクチン成分を効率的に取り込ませる技術の開発	20
	温度刺激による垂下連のかき身入り促進技術実用化研究	21
	カサゴ親魚養成技術開発研究	23
4	技術支援関連業務の概要	24
○	試験研究等に関する企画調整	24
○	技術支援関係	24
○	広報活動	26
○	その他	27
5	観測資料	29
1)	定時観測結果（平成 24 年 1 月～12 月）	29
2)	漁場環境観測結果	30

平成 25 年 (2013 年) 5 月

発行 : 広島県立総合技術研究所
水産海洋技術センター
技術支援部

〒737-1207

広島県呉市音戸町波多見 6 丁目 21-1

TEL (0823) 51-2173

FAX (0823) 52-2683